

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成31年2月7日 (2019.2.7)

【公開番号】特開2016-128818(P2016-128818A)

【公開日】平成28年7月14日 (2016.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-042

【出願番号】特願2016-2574(P2016-2574)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/30 (2006.01)

G 0 1 N 27/416 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/30 Z

G 0 1 N 27/46 3 5 3 Z

G 0 1 N 27/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月17日 (2018.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

pH センサーであって、

(a) 感応電極；

(b) 対極；

(c) 前記感応電極と前記対極の間に位置する電解質層；および

(d) 前記感応電極と前記電解質層との間に位置し、 $\text{TiO}_2$ 、 $\text{ZnO}$ 、 $\text{WO}_3$ 、 $\text{SnO}_2$ 、 $\text{RuO}_2$ 、 $\text{Ta}_2\text{O}_5$ 、または $\text{IrO}_2$ で形成された酸化物層を含み、

ここで、前記感応電極は、パラジウム前駆体組成物の熱分解によって形成されたパラジウムからなる、pH センサー。

【請求項 2】

前記電解質層が、前記感応電極および前記対極と物理的に接触している、請求項 1 に記載の pH センサー。

【請求項 3】

前記対極が銀および塩化銀を含む、請求項 1 に記載の pH センサー。

【請求項 4】

前記センサーは少なくとも 40 mV / pH の感度を有する、請求項 1 に記載の pH センサー。

【請求項 5】

前記センサーは 200 秒以下の応答時間を有する、請求項 1 に記載の pH センサー。

【請求項 6】

前記センサーは 2 ~ 12 の pH 範囲で、少なくとも 95 % の直線性を有する、請求項 1 に記載の pH センサー。

【請求項 7】

前記センサーは、前記電解質層の隣で、前記感応電極と前記対極との間に位置する絶縁体をさらに含む、請求項 1 に記載の pH センサー。

【請求項 8】

pHセンサーを含む生物医学的デバイスであって、該pHセンサーが

(a) 感応電極；

(b) 対極；

(c) 前記感応電極と前記対極との間に位置する電解質層；および

(d) 前記感応電極と前記電解質層との間に位置し、 $\text{TiO}_2$ 、 $\text{ZnO}$ 、 $\text{WO}_3$ 、 $\text{SnO}_2$ 、 $\text{RuO}_2$ 、 $\text{Ta}_2\text{O}_5$ 、または $\text{IrO}_2$ で形成された酸化物層を含み、

ここで、前記感応電極がパラジウムおよび酸化パラジウムを含むデバイス。

【請求項9】

前記感応電極が50at%を超えるPdOを含む、請求項8に記載の生物医学的デバイス。